

令和6年度 内部質保証システムチェックシート(学群)【チェック対象期間：令和6年4月～令和7年3月】

※進捗した項目□には、☑を入れる。なお、☑は当該サイクルにおける然るべき会議体(センター運営会議、教研審、理事会等)の決定、報告等をもって入れるものとする。

※達成度評価については、公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価の実施要領で定める評価基準(Ⅳ～Ⅰ)を準用する。

2025.7.22確定

※当該年度に確認すべき項目は□(未チェック)、☑(チェック済み)で表示する。当該年度の確認項目でない場合、前年度までに確認済みの項目は「☑+網掛け」、翌年度以降の確認項目は「ー」で表示する。

P D C A サイクル名称／期間 【責任組織】＜要綱第3条＞	P：目標及び計画の策定又はその改定の作業 ＜要綱第2条第1項第1号＞	D：計画の実施及びその成果測定の作業 ＜要綱第2条第1項第2号＞	C：中間結果の点検及び実施方法等の改善措置の策定の作業 ＜要綱第2条第1項第3号＞	A：改善措置による計画の実施及びその成果測定の作業 ＜要綱第2条第1項第4号＞	達成度評価（要綱第2条第2項及び第15条）		
					評価	特記事項	
一、 中期計画サイクル／6年 【評価委員会】	☑ 第3期中期計画策定・県認可(R3年3月)	☑ 第3期中期計画の実施、暫定の自己点検・評価(R6年) － 県による外部評価(R7年)		－ 第3期中期計画の実施、自己点検・評価(R8-9年) － 県による外部評価(R9年)			
二、 年度計画サイクル／1年 【評価委員会】	☑ R6年度計画の策定(R6年3月)	☑ R6年度計画の実施、自己点検・評価(実績見込み)(～R7年1月) ※三～十二の内容も含む		☑ R6年度計画の実績評価(R7年3月) － 県による外部評価(R7年8月)			
	☑ R7年度計画の策定(R7年3月)						
三、 教員活動改善サイクル／1年 【総務担当理事】	☑ 教員：活動計画の策定(R6年6月)	☑ 教員：計画の実施 ☑ 学群長等面談・前年度評価結果フィードバック※(～R6年7月) ☑ 教員：必要に応じて活動計画の変更(R6年7月～)	☑ 教員：実績整理・活動振り返り(R7年3月)		Ⅲ		
四、 授業改善サイクル／1年 【カリキュラムセンター、 基盤教育群、看護学群、 事業構想学群、食産業学群】	当該年度前期科目・次年度前期科目 ①→②→③⑤→④④→⑤					Ⅲ	
	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施計画策定及び改定 (①R6年5月～7月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施・成果測定 (②R6年7月～10月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の改善検討 (③R6年11月～12月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の改善 (④R6年12月～R7年1月)			
			☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 授業改善計画作成(担当教員)(③R6年10月) 教育改善計画作成(組織長)(④R6年12月)	－ 基盤 － 看護 － 事業 － 食産 授業改善計画実施(令和6年度前期科目) (⑤R7年4月～8月)			
	前年度後期科目・当該年度後期科目 ①→②→③⑤→④④→⑤→⑥→⑦→⑧⑧・・・					Ⅲ	
	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施計画策定及び改定 (①R5年10月～R6年1月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施・成果測定 (②R6年1月～4月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の改善検討 (⑤R6年5月～6月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の改善 (④R6年6月～7月)			
			☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 授業改善計画作成(担当教員)(③R6年5月) 教育改善計画作成(組織長)(④R6年6月)	☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 授業改善計画・教育改善計画実施 (⑤R6年9月～R7年2月)			
	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施計画策定及び改定 (⑥R6年10月～R7年1月)	☑ C C(全学) 授業評価アンケート実施・成果測定 (⑦R7年1月～4月)	－ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の改善検討 (⑥R7年5月～6月)	－ C C(全学) 授業評価アンケート実施方法等の検討 (R7年6月～7月)			
			－ 基盤 － 看護 － 事業 － 食産 授業改善計画作成(担当教員)(⑧R7年5月) 教育改善計画作成(組織長)(R7年6月)	－ 基盤 － 看護 － 事業 － 食産 授業改善計画・教育改善計画実施 (R7年9月～R8年2月)			
	五、 教育・教育環境改善サイクル／1年 【スチューデントサービスセンター、 カリキュラムセンター】	☑ S S C R5年度卒者学生満足度調査項目策定 (R5年11月～R6年2月)	☑ S S C R5年度卒者学生満足度調査実施 (R6年3月)	☑ S S C R5年度卒者学生満足度調査の報告・分析 (R6年3月～5月)	☑ S S C 満足度調査の分析による教育及び教育環境改善 (改善計画書の作成・提出) →四、九、十一等各サイクルへの反映(随時) ☑ S S C 学生満足度調査の改善(R6年6月～10月)	Ⅲ	
		☑ S S C R6年度卒者学生満足度調査項目策定 (R6年11月～R7年2月)	☑ S S C R6年度卒者学生満足度調査実施 (R7年3月)	－ S S C R6年度卒者学生満足度調査の報告・分析 (R7年4月～5月)	－ S S C 満足度調査の分析による教育及び教育環境改善 (改善計画書の作成・提出) →四、九、十一等各サイクルへの反映(随時) － 学生満足度調査の改善等(R7年6月～10月)		
		☑ C C R5年度学修行動調査項目策定 (R5年4月～8月)	☑ C C R5年度学修行動調査実施 (R5年9月～11月)	☑ C C R5年度学修行動調査の報告・分析 (R5年12月～R6年3月)	☑ C C 学修行動調査の分析による教育及び教育環境改善 →四、九、十一等各サイクルへの反映(随時) ☑ C C 学修行動調査の改善等(R6年4月～8月)		
		☑ C C R6年度学修行動調査項目策定 (R6年4月～8月)	☑ C C R6年度学修行動調査実施 (R6年9月～11月)	☑ C C R6年度学修行動調査の報告・分析 (R6年12月～R7年3月)	－ C C 学修行動調査の分析による教育及び教育環境改善 →四、九、十一等各サイクルへの反映(随時) － C C 学修行動調査の改善等(R7年4月～8月)		
六、 F D サイクル／1年 七、 S D サイクル／1年 【カリキュラムセンター、 基盤教育群、看護学群、 事業構想学群、食産業学群】	☑ C C(全学) R6年度F D・S D実施計画策定及び改定 マクロ・ミドル・ミクロ (R6年5月～7月)	☑ C C(全学) R6年度F D・S D実施、成果測定(各報告書提出) マクロ・ミドル・ミクロ (R6年7月～R7年1月)	☑ C C(全学) R6年度F D・S D実施方法等の改善検討 マクロ・ミドル・ミクロ (R7年2月～3月)	☑ C C(全学) R6年度F D・S D実施結果総括(全体報告書作成) 及び実施方法等の改善 (R7年3月～5月)	Ⅲ		
	☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・ミクロF D計画策定(通年)	☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・ミクロF D計画実施(通年)	☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・ミクロF D結果報告 (～R7年3月)	－ 基盤 － 看護 － 事業 － 食産 R7年度ミドル・ミクロF D計画策定・実施(通年)			

令和6年度 内部質保証システムチェックシート(学群)【チェック対象期間：令和6年4月～令和7年3月】

※進捗した項目□には、☑を入れる。なお、☑は当該サイクルにおける然るべき会議体(センター運営会議、教研審、理事会等)の決定、報告等をもって入れるものとする。

※達成度評価については、公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価の実施要領で定める評価基準(Ⅳ～Ⅰ)を準用する。

2025.7.22確定

※当該年度に確認すべき項目は□(未チェック)、☑(チェック済み)で表示する。当該年度の確認項目でない場合、前年度までに確認済みの項目は「☑+網掛け」、翌年度以降の確認項目は「ー」で表示する。

P D C A サイクル名称／期間 【責任組織】 <要綱第3条>	P：目標及び計画の策定又はその改定の作業 <要綱第2条第1項第1号>	D：計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第2号>	C：中間結果の点検及び実施方法等の改善措置の策定の作業 <要綱第2条第1項第3号>	A：改善措置による計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第4号>	達成度評価（要綱第2条第2項及び第15条）	
					評価	特記事項
八、 アドミッションサイクル／4～6年 【アドミッションセンター】	【R4年度からの教育課程】 ☑ A C(全学) ポリシーの点検(・改定)(～R3年) 国の施策、学習指導要領への対応(随時)	【R4年度からの教育課程】 ☑ A C(全学) 入試実施、受入結果の測定分析(R4年～) →R4年度から適用のポリシーの検証	【R4年度からの教育課程】 ☑ A C(全学) ポリシーの点検(・改定)(～R7年) 国の施策、学習指導要領への対応(随時)	【H29年度からの教育課程】 ☑ A C(全学) 受入結果の測定分析(～R3年) →H29年度から適用のポリシーの検証	Ⅲ	
				【R4年度からの教育課程】 ー A C(全学) 入試実施、受入結果の測定分析(R7年～) →R4年度から適用のポリシーの検証		
	【R4年度からの教育課程】 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 ポリシーの点検(・改定)(～R3年)	【R4年度からの教育課程】 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 入試実施、受入結果の測定分析(R4年～) →R4年度から適用のポリシーの検証	【R4年度からの教育課程】 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 ポリシーの点検(・改定)(R6年/～R7年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 受入結果の測定分析(～R3年) →H29年度から適用のポリシーの検証		
	☑ A C(全学) R6年度入学者選抜の制度設計(R5年度前期)	☑ A C(全学) R6年度入学者選抜の実施(R5年度後期)	☑ A C(全学) R6年度入学者選抜受入結果の測定分析 (R6年度前期)	☑ A C(全学) 入学者選抜の必要に応じた改善(R6年度前期)		
	☑ A C(全学)(R6年度前期) R7年度入学者選抜の制度設計	☑ A C(全学)(R6年度後期) R7年度入学者選抜の実施	ー A C(全学)(R7年度前期) R7年度入学者選抜受入結果の測定分析	ー A C(全学)(R7年度前期) 入学者選抜の必要に応じた改善		
	【R7年度からの新学習指導要領に係る入試制度】 ☑ A C(全学) R7年度入学者選抜の制度設計	☑ A C(全学) R7年度入学者選抜の実施	☑ A C(全学) R7年度入学者選抜受入結果の測定分析	☑ A C(全学) 入学者選抜の必要に応じた改善		
九、 カリキュラムサイクル／4～6年 【カリキュラムセンター、 基盤教育群、看護学群、 事業構想学群、食産業学群】	【R4年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) ポリシーの大きな改定(～R3年) カリキュラムの大きな改定(～R3年)	【R4年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 学修行動調査(R6年/R4年～) GPAによる成績調査(R6年/R4年～)	【R4年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) ポリシーの点検(・改定)(R6年/～R7年) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/～R7年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 学修成果の測定分析(～R3年) →H29年度から適用のポリシーの検証	Ⅲ	
				【R4年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 学修行動調査(R6年/R4年～) GPAによる成績調査(R6年/R4年～) →R4年度から適用のポリシーの検証 (R6年/R4年～)		
	【R4年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 ポリシーの大きな改定(～R3年) カリキュラムの大きな改定(～R3年)	【R4年度からの教育課程】 ー 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 学修行動調査(R6年/R4年～) GPAによる成績調査(R6年/R4年～)	【R4年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 ポリシーの点検(・改定)(R6年/～R7年) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/～R7年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 学修成果の測定分析(～R3年) →H29年度から適用のポリシーの検証		
	☑ 教職課程(看護) カリキュラムの大きな改定(～R3年)	☑ 教職課程(看護) 学修行動調査(R6年/R4年～) GPAによる成績調査(R6年/R4年～)	☑ 教職課程(看護) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/～R7年)	ー 教職課程(看護) 学修行動調査(R6年/R4年～) GPAによる成績調査(R6年/R4年～)		
十、 ディプロマサイクル／4～6年 【カリキュラムセンター、 基盤教育群、看護学群、 事業構想学群、食産業学群】	【H29年度からの教育課程】 ☑ CC (全学) 単位授与・学位授与要件の大きな改正 カリキュラム・科目構成の大きな改正 【R4年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 単位授与・学位授与要件の大きな改正 カリキュラム・科目構成の大きな改正 教育研究組織の大きな再編・改廃(～R3年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 学修成果の測定分析(R6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R6年/適宜) 【R4年度からの教育課程】 ー C C(全学) 学修成果の測定分析(R7年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R10年～)	【H29年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 【R4年度からの教育課程】 ー C C(全学) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R6年/～R7年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ C C(全学) 社会での活躍状況等の測定分析(～R9年) →H29年度から適用のポリシーの検証 【R4年度からの教育課程】 ー C C(全学) 学修成果の測定分析(R7年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R10年～) →R4年度から適用のポリシーの検証 (R7年～)	Ⅲ	
	【H29年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 単位授与・学位授与要件の大きな改正 カリキュラム・科目構成の大きな改正 【R4年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ー 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 単位授与・学位授与要件の大きな改正 カリキュラム・科目構成の大きな改正 教育研究組織の大きな再編・改廃(～R3年)	【H29年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 学修成果の測定分析(R6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R6年/適宜) 【R4年度からの教育課程】 ー 基盤 ー 看護 ー 事業 ー 食産 学修成果の測定分析(R6年/R4年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R6年/適宜)	【H29年度からの教育課程】 ☑ 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 【R4年度からの教育課程】 ー 基盤 ー 看護 ー 事業 ー 食産 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R6年/～R7年)	【H29年度からの教育課程】 ー 基盤 ☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 社会での活躍状況等の測定分析(～R9年) →H29年度から適用のポリシーの検証 【R4年度からの教育課程】 ー 基盤 ー 看護 ー 事業 ー 食産 学修成果の測定分析(R7年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R10年～) →R4年度から適用のポリシーの検証 (R7年～)		

令和6年度 内部質保証システムチェックシート(学群)【チェック対象期間：令和6年4月～令和7年3月】

※進捗した項目□には、☑を入れる。なお、☒は当該サイクルにおける然るべき会議体(センター運営会議、教研審、理事会等)の決定、報告等をもって入れるものとする。

※達成度評価については、公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価の実施要領で定める評価基準(Ⅳ～Ⅰ)を準用する。

2025.7.22確定

※当該年度に確認すべき項目は□(未チェック)、☑(チェック済み)で表示する。当該年度の確認項目でない場合、前年度までに確認済みの項目は「☑+網掛け」、翌年度以降の確認項目は「―」で表示する。

P D C A サイクル名称／期間 【責任組織】＜要綱第3条＞	P：目標及び計画の策定又はその改定の作業 ＜要綱第2条第1項第1号＞	D：計画の実施及びその成果測定の作業 ＜要綱第2条第1項第2号＞	C：中間結果の点検及び実施方法等の改善措置の策定の作業 ＜要綱第2条第1項第3号＞	A：改善措置による計画の実施及びその成果測定の作業 ＜要綱第2条第1項第4号＞	達成度評価 ＜要綱第2条第2項及び第15条＞	
					評価	特記事項
十一．施設整備サイクル 中小規模 ／1年 【財務担当理事】	【R6年度分】 ☑ 改修・整備項目の予算措置 （～R6年3月）	☑ 計画的な改修・整備の実施(随時) ☑ 適切な施設管理による不具合等への対応(随時)		☑ 定期的な学内調査(通年) 次年度に向けて優先的に改修・整備すべき項目の整理	Ⅲ	
	【R7年度分】 ☑ 改修・整備項目の予算措置 （～R7年3月）					
十一．施設整備サイクル 大規模 ／6年 【財務担当理事】	☑ 第3期施設整備計画策定・県認可(R3年2月)	☑ 第3期中期計画暫定評価(R6年度)	－ 県による暫定外部評価(R7年度)	－ 第3期施設整備計画の最終評価(R9年)		
	☑ 中小規模施設整備サイクルを踏まえた計画の 見直しに係る県との調整(R6年/随時)	☑ 中小規模施設整備サイクルを踏まえた計画の進行管理(R6/随時)	－ 県による外部評価(R9年)	☑ 十一のサイクルを踏まえた計画見直し(R6年/随時)		
十二．法令適合点検サイクル／1年 【各組織】	☑ 法令項目の確認(法改正含む)(随時)	☑ 法令項目に対する適合性の点検(R6年11月) ※適合状況チェックシートにて担当項目の「適合状況」を確認し、○×を入力してください。		☑ 不適合部分の確認(R6年12月) ☑ 規程等の策定・改廃(～R7年3月)	Ⅲ	

令和6年度 内部質保証システムチェックシート(研究科)【チェック対象期間：令和6年4月～令和7年3月】

※進捗した項目□には、☑を入れる。なお、☑は当該サイクルにおける然るべき会議体(センター運営会議、教研審、理事会等)の決定、報告等をもって入れるものとする。

※達成度評価については、公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価の実施要領で定める評価基準(Ⅳ～Ⅰ)を準用する。

2025.7.22確定

※当該年度に確認すべき項目は□(未チェック)、☑(チェック済み)で表示する。当該年度の確認項目でない場合、前年度までに確認済みの項目は「☑+網掛け」、翌年度以降の確認項目は「―」で表示する。

P D C A サイクル名称／期間 【責任組織】<要綱第3条>	P：目標及び計画の策定又はその改定の作業 <要綱第2条第1項第1号>	D：計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第2号>	C：中間結果の点検及び実施方法等の改善措置の策定の作業 <要綱第2条第1項第3号>	A：改善措置による計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第4号>	達成度評価 <要綱第2条第2項及び第15条>	
					評価	特記事項
四、授業改善サイクル／1年 【カリキュラムセンター、 看護学研究科、 事業構想学研究科、 食産業学研究科】	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施計画策定 及び改定 (R5年10月～R6年1月)	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施・成果測定 (R6年1月～4月)	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施方法等の改善検討 (R6年1月～4月)	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施方法等の改善 (R6年6月～9月)	Ⅲ	
	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施計画策定 及び改定 (R6年10月～R7年1月)	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施・成果測定 (R7年1月～4月)	☑ CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施方法等の改善検討 (R7年1月～4月)	― CC(全学) 教育内容等の評価アンケート実施方法等の改善 (R7年6月～9月)		
	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育内容等の評価アンケート実施計画策定 及び改定 (R5年10月～R6年1月)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育内容等の評価アンケート実施・成果測定 (R6年1月～4月)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育改善計画作成(組織長)(R6年6月)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育改善計画実施		
	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育内容等の評価アンケート実施計画策定 及び改定 (R6年10月～R7年1月)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 教育内容等の評価アンケート実施・成果測定 (R7年1月～4月)	― 看護 ― 事業 ― 食産 教育改善計画作成(組織長)(R7年6月)	― 看護 ― 事業 ― 食産 教育改善計画実施		
六、FDサイクル／1年 【カリキュラムセンター、 看護学研究科、 事業構想学研究科、 食産業学研究科】	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・マイクロFD計画策定(通年)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・マイクロFD実施(通年)	☑ 看護 ☑ 事業 ☑ 食産 R6年度ミドル・マイクロFD結果報告(～R7年3月)	― 看護 ― 事業 ― 食産 R7年度ミドル・マイクロFD計画策定・実施(通年)	Ⅲ	
八、アドミッションサイクル／2～6年 【アドミッションセンター、 看護学研究科、 事業構想学研究科、 食産業学研究科】	ポリシーの点検(・改定)(～R2年)☑ 看護	☑ 看護 入試実施、受入結果の測定分析(R6年/R3年～)	☑ 看護 ポリシーの点検・改定(R6年/～R7年)	― 看護 入試実施、受入結果の測定分析(R7年～) → R3年度から適用のポリシーの検証	Ⅲ	
	ポリシーの点検(・改定)(～R2年)☑ 事業	☑ 事業 入試実施、受入結果の測定分析(R6年/R3年～)	☑ 事業 ポリシーの点検・改定(R6年/～R7年)	― 事業 入試実施、受入結果の測定分析(R7年～) → R3年度から適用のポリシーの検証		
	ポリシーの点検(・改定)(～R2年)☑ 食産	☑ 食産 入試実施、受入結果の測定分析(R6年/R3年～)	☑ 食産 ポリシーの点検・改定(R6年/～R7年)	― 食産 入試実施、受入結果の測定分析(R7年～) → R3年度から適用のポリシーの検証		
九、カリキュラムサイクル／2～6年 【カリキュラムセンター、 看護学研究科、 事業構想学研究科、 食産業学研究科】	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 看護(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 看護(博士前期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 看護(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 看護(博士前期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証	Ⅲ	
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 看護(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 看護(博士後期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 看護(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 看護(博士後期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 事業(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 事業(博士前期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 事業(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 事業(博士前期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 事業(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 事業(博士後期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 事業(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 事業(博士後期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 食産(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 食産(博士前期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 食産(博士前期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 食産(博士前期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 食産(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(～R2年) カリキュラムの点検(・改定)(～R2年)	☑ 食産(博士後期) 教育内容アンケート(R6年/R3年～) 成績調査(R6年/適宜)	☑ 食産(博士後期) ポリシーの点検(・改定)(R6年/R3年～) カリキュラムの点検(・改定)(R6年/R3年～)	☑ 食産(博士後期) 教育内容評価アンケート(R3年～) 成績調査(適宜) → R3年度から適用のポリシーの検証		

令和6年度 内部質保証システムチェックシート(研究科)【チェック対象期間：令和6年4月～令和7年3月】

※進捗した項目□には、☑を入れる。なお、☒は当該サイクルにおける然るべき会議体(センター運営会議、教研審、理事会等)の決定、報告等をもって入れるものとする。

※達成度評価については、公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価の実施要領で定める評価基準(Ⅳ～Ⅰ)を準用する。

2025.7.22確定

※当該年度に確認すべき項目は□(未チェック)、☑(チェック済み)で表示する。当該年度の確認項目でない場合、前年度までに確認済みの項目は「☑+網掛け」、翌年度以降の確認項目は「―」で表示する。

P D C A サイクル名称／期間 【責任組織】<要綱第3条>	P：目標及び計画の策定又はその改定の作業 <要綱第2条第1項第1号>	D：計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第2号>	C：中間結果の点検及び実施方法等の改善措置の策定の作業 <要綱第2条第1項第3号>	A：改善措置による計画の実施及びその成果測定の作業 <要綱第2条第1項第4号>	達成度評価 <要綱第2条第2項及び第15条>	
					評価	特記事項
十. ディプロマサイクル／2～6年 【カリキュラムセンター、 看護学研究科、 事業構想学研究科、 食産業学研究科】	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 看護(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 看護(博士前期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 看護(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 看護(博士前期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証	Ⅲ	
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 看護(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 看護(博士後期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 看護(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 看護(博士後期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 事業(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 事業(博士前期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 事業(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 事業(博士前期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 事業(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 事業(博士後期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 事業(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 事業(博士後期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 食産(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 食産(博士前期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 食産(博士前期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 食産(博士前期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証		
	【R3年度からのカリキュラム】 ☑ 食産(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改定)(～R2年) カリキュラム・科目構成の点検(・改定)(～R2年)	☑ 食産(博士後期) 学修成果の測定分析(R 6年/R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(R 6年/適宜)	☑ 食産(博士後期) 単位授与・学位授与要件の点検(・改正) カリキュラム・科目構成の点検(・改正) 教育研究組織の点検(・再編・改廃)(R 6年/R3年～)	☑ 食産(博士後期) 学修成果の測定分析(R3年～) 社会での活躍状況等の測定分析(適宜) → R 3年度から適用のポリシーの検証		